

8月行事予定

1	木	お話タイム(4)、絵本貸出
2	金	プール参観日、スマチル放映日
3	土	夕涼み会
4	日	
5	月	身体測定(～9日まで)、プール参観日予備日
6	火	
7	水	夕涼み会(予備日)
8	木	絵本貸し出し、※持ち帰り日
9	金	1学期終業式、プール納め
10	土	
11	日	山の日
12	月	振替休日
13(火)～16(金)		夏季休業日(預かり保育…弁当持参)
17	土	
18	日	
19	月	2学期始業式
20	火	避難訓練
21	水	
22	木	絵本貸し出し
23	金	誕生会、
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	絵本貸し出し
29	木	
30	金	ピカピカデー、園便り、給食便り配信 ※持ち帰り日(そうり)
31	土	

※持ち帰り日・布団・帽子・歯ブラシ・コップ・そうり(月末)<9月の予定>
 9/21(土)運動会(雨天…大栄体育館)
 ※体操服(幼稚部)が必要であれば、ネット注文を各家庭でお願いいたします。
 (※商品が届くまで1か月程度かかります。)

★家庭教育12か条★

8月は
「家族で決めよう家庭のルール」



ふ た ば

2024年8月 北栄町立大誠こども園

夏本番に入り、ジリジリと照りつけるような太陽の光を浴びながらも、園では水に触れて遊ぶことを喜んだり、プールで顔をつけたり、ワニ泳ぎをしたりして、毎日、水遊びやプール遊びを楽しんでいます。また、カブト虫やクワガタ虫を友達と一緒に見ながら、身近な生き物に触れて楽しむ姿や、夏野菜の生長を喜び姿もあります。これからも水や生き物、自然と触れ合い、夏ならではの遊びや生活を十分に楽しみたいと思います。



カブトムシやクワガタに興味津々☆

野菜がたくさん収穫できました！

研究主題「自分なりの言葉で思いを伝え合うことを喜び子をめざして」
 ～豊かな言葉や心動かす体験を通して～

1歳児のめざすこども像

「保育教諭と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを身振りや簡単な言葉で伝える子」をめざす姿とし、様々な言葉に触れたり、心を動いたりするような遊びの環境や保育教諭の応答的な関わりの工夫をしています。



ふわふわ、ゆらゆら、楽しいな。



ビー玉コロコロ 不思議だね？！

寒天ゼリー遊び そっと触ってみたり、つまんでみたりして感触を楽しみました。



うわ！冷たい

一人が机をバンバンたたいて音を鳴らしたら、楽しくなってみんなでバンバンバンバンバン。

水遊び♪気持ちいいね☆大好き♪



みんなで大きな声を出したらやっぱり楽しかったよ。



パシャパシャ楽しいね。



うわ！冷たい

1歳児は、身近な人に思いが伝わったという喜びが言葉への興味につながります。思いを受け止めてもらう心地良さや喜びを感じられるよう、保育教諭は一人一人が「みて！」「あった！」「たのしいね」と表情や指差しや身振り、簡単な言葉で伝えようとする姿を認め、共感して「うれしいね。」「きれいだね。」と、言葉を添えながら応答的に関わっていきます。子どもたちは、歌や手遊びを喜んだり保育教諭に見つけた物や思ったことを指差しや表情、単語等で教えてくれたりしています。豊かな言葉に触れられるよう、保育教諭との関わりながら、興味関心に合わせて絵本や触れ合い遊び、手遊びを繰り返して一緒に楽しみたいと思います。

【8月の教育・保育目標】

- ・夏の生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。
- ・水に親しんだり、プールで体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。
- ・生き物の変化する様子や成長を喜び、大切にしようとする気持ちを持つ。

☆瀬戸獅子舞の迫力☆ ～地域交流～



瀬戸獅子舞保存会の方に来ていただき、力強く、迫力ある獅子舞を見せていただきました。



大誠こども園を卒業した小学生や中学生も活躍しており、こども獅子舞とともに、頭や足を動かすコツを教えてくださいました。地域の伝統が園の取り組みとして根付き、また、地域

での活動を盛り上げていく次の担い手となっていることを嬉しく思いました。

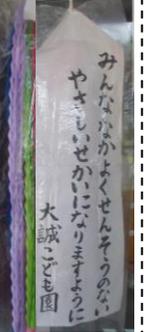
5歳児は「獅子舞すごかったよ！」と目を輝かせて見ていました。獅子を間近で見せていただき、ご利益があるようにと頭をかんでももらいました。運動会では、かっこいい獅子舞を見られるように練習にがんばっていきます！！



～千羽鶴のご協力、ありがとうございました～

皆さんにご協力いただけてできあがった千羽鶴に、年長児が考えたメッセージをつけ、願いを込めて広島へ送り届けさせていただきました。

「みんなが仲良く、戦争のない優しい世界になりますように」
 平和な世界であることを心から願っています。



おすすめ絵本の紹介

「セミくんいよいよこんやです」
 作者・イラスト 工藤ノリコ

あらすじ
 地中で暮らすセミくんの元に一本の電話が…
 「いよいよ今夜」って何が起こるのかな？
 地中でセミくんの暮らし、やがて旅立つ時のその心境、まわりの仲間たちの受け止め方。壮大なのにどこか愛らしくユーモアあふれる絵本。地下で7年間を過ごし、地上ではたった1週間しか生きられないセミを思い、夏にミーンと元気に鳴く姿を、応援したくなる1冊です。

